

3 用語解説

【アドミッション・ポリシー】

受験生に求める能力、適性等についての考え方や入学者選抜の基本方針をまとめたもの。

【一般科目／専門科目】

一般科目とは、各学科に共通する国語，社会，数学，理科，保健体育，芸術，外国語，情報処理等の基礎的内容を教授する科目。

専門科目とは，学科ごとの専門的分野を深く追求することを目的とした科目。

【インターンシップ】

学生が在学中に，企業等において，自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

【ＡＯ入試】

アドミッション・オフィス入試。学力検査に偏ることなく，詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって，受験生の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合的に判定しようとするきめ細かな選抜方法の一つ。

【オープンキャンパス】

受験生が学校を選択する際の参考とするために開催する学校見学会，体験入学等の催し。一般の授業や課外活動等，学校生活の一部を体験することができる。

【オフィスアワー】

授業内容等に関する学生の質問等に応じるための時間として，教員があらかじめ示す特定の時間帯。

【課外活動】

幅広い知識と豊かな人間性を涵養するために，授業以外に生活全般を通じて学生が学ぶことのできるような活動。例えば，部活動，サークル活動や自主的な研究会などがこれに当たる。

【外部評価／第三者評価】

外部評価とは，学校の教育活動等について，学校側が選定する当該学校に所属する者以外の者から評価を受けること。一方，第三者評価とは，第三者的立場にある評価機関等が実施する評価である。

【科学研究費補助金（科研費）】

文部科学省及び日本学術振興会が所管し，日本の学術を振興するため，人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野で，独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする研究助成費。大学等の研究者又は研究者グループが自発的に計画する多様な学術研究のうち，それらの研究分野の動向に即して，ピア・レビューにより特に重要なものを取り上げ，研究費を助成する。萌芽期の研究から最先端の研究まで，多様なメニューで研究者を援助しており，その研究成果は，ノーベル賞をはじめ，研究者の国内外での様々な受賞につながっている。

【学生会】

全学生で構成される学生自治団体。学校の指導のもとに学生の自主的な活動をとおして，人間形成を助長し，学生生活を楽しく，規律正しいものにし，健全なる心身をつくり，自治能力を養うことを目標とする。中学校や高等学校における生徒会と同様の組織。

【学校教育法第 70 条の 2】

高等専門学校を設置目的に関する規定であり、「高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。」と定めている。

【共同研究制度】

大学等が企業・学校外機関等から研究者および研究経費を受け入れて、教員が企業・学校外機関等の研究者や技術者と共通の課題について共同しておこなう研究制度。通常、共同研究期間中、当該校の実験機器・装置を利用することができる。

【研究生制度】

特定の専門事項の研究することを志願する者を、教育及び研究に支障のない場合に限り、選考の上、入学を許可する制度。

【在外研究員制度】

国立大学等の教員が専攻する学問分野等について調査研究を行うため、国費により外国の大学、研究所、その他これらに準ずる公共的な教育施設又は学術研究施設に派遣し、その教授又は研究の能力等を向上させることを目的とする制度。

【J A B E E（日本技術者教育認定機構）】

技術系学協会と密接に連携しながら、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかの審査・認定を行う非政府団体。

【主事】

校長の命を受け、専門的業務を掌理する職。通常、教務主事、学生主事、寮務主事が置かれ、それぞれ教育計画の立案その他教務に関すること、学生の厚生補導に関すること、寄宿舎における学生の厚生補導に関することを掌理する。

【受託研究制度】

教員が民間企業や国の機関または地方公共団体等の機関から委託を受けて行う研究で、これに要する経費を委託者に負担していただく制度。

【準学士課程 / 専攻科課程】

準学士課程とは、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを主な目的とし、卒業した者が「準学士」と称することができる課程。高等専門学校では、学科がこれに当たる。

一方、専攻科課程とは、高等専門学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とした課程。高等専門学校では、専攻科がこれに当たる。

【奨学寄付金制度】

民間企業等や個人篤志家から教育研究の奨励を目的とした寄付を受け入れる制度。

【シラバス】

各授業科目の詳細な授業計画。一般に、授業名、担当教員名、授業目的、各回ごとの授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるもの。また、学生が講義の履修を決める際の資料になるとともに、教員相互の授業内容の調整、学生による授業評価等にも使われる。

【正規課程】

準学士課程及び専攻科課程を指す。

【聴講生制度】

学校の開設する授業科目のうち、特定の科目の聴講を志願する者を、教育及び研究に支障のない場合に限り、選考の上、入学を許可する制度。

【T A（ティーチング・アシスタント）】

一般的には、大学において、優秀な大学院学生に対し、教育的配慮の下に、学部学生などに対するチュータリング（助言）や実験、実習、演習などの教育補助業務を行わせ、大学教育の充実と大学院学生への教育トレーニングの機会提供を図ることを目的とした制度。

【チューター制度】

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

【T O E I C】

Test of English for International Communication の略で、アメリカのE T S が開発した英語によるコミュニケーション能力を正確に測定するためのテスト。

【内地研究員制度】

国立大学等の教員に対し、勤務場所を離れてその専攻とする学問分野の研究に専念させ、教授研究能力を向上させることを目的とする制度。

【P B L】

Problem based Learning または Project based Learning の略で、実社会で役に立つプロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、知識の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法。

【ファカルティ・ディベロップメント】

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。F D と略して称されることもある。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。

【リサーチアワー】

教員が研究活動に従事するための時間帯として特別に設けられた時間帯。